

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341106	授業デザイン演習 I	小倉 弘之			1	選択	2前期

科目の概要

本学で修得を目指す社会人基礎力、pisa型学力の修得はもちろんのこと、DP③の教育現場での中心テーマである授業づくりに対する基礎的な理解を図り、そしてDP①⑤の社会人として自己研鑽に取り組み、DP⑥の地域で貢献できる人材育成を目指す。本科目ではこれまでの受ける立場からデザインし実践する立場へと視点を変え、基本的な授業理論、実際の授業視聴と分析等を通して、授業づくりに対する見識とより良い授業づくりのための自らの課題を明確にしていくようにする。

学修内容	到達目標
① 授業に必要な知識や技能の修得を図る。 ② 実際の授業事例とその背景にある要因を踏まえ、よりよい授業づくりについて考える。	① 授業づくりに関する必要な知識や技能を修得することができる。 ② 様々な授業事例から学び、良い授業に対する自らのイメージをもつことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	小学校における授業づくりに興味をもち、積極的に授業の在り方を追究したり、協議に参加したりしている。
	働きかけ力	
	実行力	授業資料を基に、参考図書・文献やインターネット等からの情報を効果的に活用し、新たな知見や有効な資料等を作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	これまでの自らの授業経験や授業に関する諸理論から、授業づくりについて自分なりの視点で着目し、課題意識を明確にすることができる。
	計画力	
	創造力	授業づくりに関するポイントを自らの課題として捉え直し、対応策を考えたり、他者との協議を通して新たな対応策を探ったりすることができる。
チームで働く力	発信力	課題発見力を駆使することによって生み出した自らの認識や課題意識を協議やプレゼンテーションを通じて表現することができる。
	傾聴力	グループ協議などで、自らの視野を広げるために、他者の発言をよく聴き、メモを取るなどして協議することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	学習を習慣づけ、計画的に実践することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：『授業という営み 子どもとともに「主体的に学ぶ場」を創る』鹿毛雅治, 2019, 教育出版 他、適宜資料配付
参考図書：『新版 学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』佐藤学, 2023, 岩波ブックレット
『「資質・能力」と学びのメカニズム』奈須正裕, 2017, 東洋館出版社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本科目は、小学校における授業づくりの基盤となる理論を学び、その上で授業の見方などについて演習を通して身に付けていくものである。従って、小学校教諭免許状取得に関わる各教科研究、各教科教育法、教育実習等に関連、発展していくものである。

資格との関連：小学校教諭1種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
将来、小学校教員を目指す学生にとって、どのように授業を考え、実際に授業づくりを行っていくかは非常に重要な課題である。真摯に且つ積極的に授業に臨み、自らの授業像を構築していくことが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後の課題の期限内提出を徹底していく。 ・授業に参加していないと判断された場合には欠席扱いとする。 ・スマホの使用は、授業者から指示があった場合を除き、原則禁止とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント							
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
	平常評価	小テスト		20	①	✓					(獲得) 教師になるための基本的な内容の理解：100%	
					②							
		レポート		50	①	✓					(獲得) 授業づくりに関する様々な理論の理解：60% (活用) 授業づくりに関する諸理論や具体的な授業分析での自らの認識・具体策の明示：40%	
					②	✓						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓					(解決) 授業づくりに関する諸理論や授業分析を通しての自らの授業観の構築・発表：100%			
			②	✓								
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①					主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。 実行力：授業づくりの意義や方法について自らのこととして真剣に考えることができる。 課題発見力：授業づくりに関する諸理論の中から重要なものを自らの追求テーマとして見つけることができる。 創造力：子どもの立場に立って分かりやすい授業を考え、具体的に発表することができる。 発信力：協議の中で自らの意見を明確に述べたり、自らの授業観について分かりやすく発表することができる。 傾聴力：話を聞いたり、メモを取ったりするなどして学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。			
				②								
総合評価割合			100									

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①本科目の学習内容に対する意識が高く、子どもの成長を目指す者としての自覚をもった意見を述べている。</p> <p>②グループで協力し、各々の力を発揮し、よりよい結論を導く姿勢ができています。</p> <p>③明確な課題意識をもち、自分なりに考察し、レポートを作成することができる。</p> <p>④将来、教職を目指す者としてルールやマナーを踏まえ、意欲的に授業に取り組んでいる。</p> <p>※S(秀)については上記に加え、実際の授業分析において自らの考えを明確に理論的に述べるができる。</p>	<p>①将来、教職を目指す者として自覚をもった意見を述べている。</p> <p>②グループで協力し、その中で自らの家考えや意見を発表することができる。</p> <p>③課題意識をもち、自分なりの言葉でレポートを作成することができる。</p> <p>④将来、教職を目指す者としてルールやマナーを踏まえ、授業に臨んでいる。</p> <p>※レベルBを満たしていない姿勢、発表やレポートについてはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション：本科目の概要や進め方等についての理解 ○これまでの自らの授業観の交流、考察	1. 講義 2. 演習、協議	・本科目での目指すもの（ゴール）や学び方について理解する。 ・これまでの経験から、自らの授業観について考察、交流する。	（予習）「学泉ノート」の各資質・能力と本科目での学びとの関係を考える。 （復習）これまでの自身の授業観について文章にまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	○「授業をする」とはどのようなことなのか	1. 講義 2. 演習、協議	・授業づくりの一連の流れについて理解する。 ・その中での重要事項について考察することができる。	（予習）テキストpp.1～22を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	○「質の高い学び」を構想する～教育心理の視点からの授業づくり	1. 講義 2. 演習、協議	・教育心理の視点からの「質の高い学び」について理解する。 ・「質の高い学び」を実現する授業づくりについて自分の言葉で説明することができる。	（予習）テキストpp.24～57を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○「経験」「感性」を重視した授業づくり	1. 講義 2. 演習、協議	・「経験」「感性」を重視した視点からの授業づくりについて理解する。 ・その際の授業づくりについて重要な要素を説明することができる。	（予習）テキストpp.58～90, 181～198を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	○「問い」から「思考」「論理」への学び	1. 講義 2. 演習、協議	・子どもの学びの過程における、「問い」から「思考」「論理」へと展開について理解する。 ・その過程について具体例を挙げることができる。	（予習）テキストpp.199～229を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	○「学び合い」について考察する	1. 講義 2. 演習、協議	・学び合い（協同的な学び）及び学びの共同体理論について理解する。	（予習）テキストpp.241～272を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	○「真正の学び」と教材研究	1. 講義 2. 演習、協議	・「真正の学び」の意義及びそれを実現するための教材研究の在り方について理解する。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	○対話による授業デザイン	1. 講義 2. 演習、協議	・対話による授業デザインの重要性とその具体的な構成要素などについて理解する。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○「学び合う教室文化」について考察する	1. 講義 2. 演習、協議	・古屋和久氏の提唱する「学び合う教室文化」について理解する。	(予習) 提示資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	○授業分析演習①	1. 演習、協議	・小学校の授業VTRを視聴し、これまで本科目で身に付けてきた視点から考察することができる。	(予習) 提示資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
11	○授業分析演習②	1. 演習、協議	・小学校の授業VTRを視聴し、これまで本科目で身に付けてきた視点から考察することができる。	(予習) 提示資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○授業者としての声とからだのレッスン	1. 体験演習	・声とからだの体験演習を通して、授業者としての声やからだの感覚について理解する。	(予習) 予習資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	○外部講師授業①: 授業づくりの魅力と原理・原則	1. 講義 2. 演習、協議	・外部講師の講話を聴き、授業づくりの魅力及び原理・原則について理解する。	(予習) 外部講師の著書(一部)を読み、内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	○外部講師授業②: 国語科(文学)の授業づくりの実際	1. 講義 2. 演習、協議	・外部講師の講話を聴き、国語科文学的文章の授業づくりについて理解する。	(予習) 外部講師の著書(一部)を読み、内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	○レポート発表会	1. 発表、協議 2. 講義	・本科目を通して学び考察してきたことから、自らの授業観について互いに発表し合うことができる。	(予習) 発表用スライドを作成する(Power Point)。 (復習) 本時の学修を振り返り、レポートを作成する。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341107	授業デザイン演習Ⅱ	小倉 弘之			1	選択	2前期

科目の概要

本学で修得を目指す社会人基礎力、pisa型学力の修得はもちろんのこと、DP③の教育現場での中心テーマである授業づくりに対する基礎的な理解を図り、そしてDP①⑤の社会人として自己研鑽に取り組み、DP⑥の地域で貢献できる人材育成を目指す。本科目では前期の授業デザイン演習Ⅰの学修を踏まえ、基本的な授業理論、実際の授業視聴と分析等を通して、授業づくりに対する見識とより良い授業づくりのための自らの課題を明確にしていくことを目指す。

学修内容	到達目標
① 授業に必要な知識や技能の修得を図る。 ② 実際の授業事例とその背景にある要因を踏まえ、よりよい授業デザインを考え発表する。	① 授業づくりに関する必要な知識や技能を修得することができる。 ② 様々な授業事例から学び、良い授業に対する自らのイメージを授業デザインとして具体的に表すことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	小学校における授業づくりに興味をもち、積極的に授業の在り方を追究したり、協議に参加したりしている。
	働きかけ力	
	実行力	授業資料を基に、参考図書・文献やインターネット等からの情報を効果的に活用し、新たな知見や有効な資料等を作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	これまでの自らの授業経験や授業に関する諸理論から、授業づくりについて自分なりの視点で着目し、課題意識を明確にすることができる。
	計画力	
	創造力	授業づくりに関するポイントを自らの課題として捉え直し、対応策を考えたり、他者との協議を通して新たな対応策を探ったりすることができる。
チームで働く力	発信力	課題発見力を駆使することによって生み出した自らの認識や課題意識を協議やプレゼンテーションを通じて表現することができる。
	傾聴力	グループ協議などで、自らの視野を広げるために、他者の発言をよく聴き、メモを取るなどして協議することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	学習を習慣づけ、計画的に実践することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：適宜資料配付

参考図書：『新版 学校を改革する 学びの共同体の構想と実践』佐藤学, 2023, 岩波ブックレット
 『「資質・能力」と学びのメカニズム』奈須正裕, 2017, 東洋館出版社

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本科目は、小学校における授業づくりの基盤となる理論を学び、その上で授業の見方などについて演習を通して身に付けていくものである。従って、小学校教諭免許状取得に関わる各教科研究、各教科教育法、教育実習等に関連、発展していくものである。なお、本科目は前期の授業デザイン演習Ⅰでの学修内容を踏まえ、より実践的・専門的な学びを目指す。

資格との関連：小学校教諭1種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
本科目は、授業デザイン演習Ⅰでの諸理論を踏まえての内容となるため、原則、前期で授業デザイン演習Ⅰを履修した者であることを前提とする。そして、より強化の専門性を踏まえた演習形式となるため、真摯に且つ積極的に授業に臨み、自らの授業像を構築していくことが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後の課題の期限内提出を徹底していく。 ・授業に参加していないと判断された場合には欠席扱いとする。 ・スマホの使用は、授業者から指示があった場合を除き、原則禁止とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
	小テスト	10	①	✓	(獲得) 教師になるための基本的な内容の理解：100%
			②		
レポート	40	①	✓	(獲得) 授業づくりに関する様々な理論の理解：60% (活用) 授業づくりに関する諸理論や具体的な授業分析での自らの認識・具体策の明示：40%	
		②	✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	(解決) 授業づくりに関する諸理論や授業分析を通しての授業デザイン作成及びマイクロ・ティーチング：100%
			②	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①		主体性：予習や復習を行い、自ら主体性をもって学び続けることができる。 実行力：授業づくりの意義や方法について自らのこととして真剣に考えることができる。 課題発見力：授業づくりに関する諸理論の中から重要なものを自らの追求テーマとして見つけることができる。 創造力：子どもの立場に立って分かりやすい授業を考え、具体的に発表することができる。 発信力：協議の中で自らの意見を明確に述べたり、自らの授業観について分かりやすく発表することができる。 傾聴力：話を聞いたり、メモを取ったりするなどして学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
			②		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 本科目の学習内容に対する意識が高く、子どもの成長を目指す者としての自覚をもった意見を述べている。</p> <p>② グループで協力し、各々の力を発揮し、よりよい結論を導く姿勢ができています。</p> <p>③ 明確な課題意識をもち、自分なりに考察し、レポートを作成することができる。</p> <p>④ 将来、教職を目指す者としてルールやマナーを踏まえ、意欲的に授業に取り組んでいる。</p> <p>※S(秀)については上記に加え、実際の授業分析において自らの考えを明確に理論的に述べるができる。</p>	<p>① 将来、教職を目指す者として自覚をもった意見を述べている。</p> <p>② グループで協力し、その中で自らの家考えや意見を発表することができる。</p> <p>③ 課題意識をもち、自分なりの言葉でレポートを作成することができる。</p> <p>④ 将来、教職を目指す者としてルールやマナーを踏まえ、授業に臨んでいる。</p> <p>※レベルBを満たしていない姿勢、発表やレポートについてはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション：本科目の概要や進め方等についての理解 ○授業デザイン演習Ⅰの内容を振り返る	1. 講義 2. 演習、協議	・本科目での目指すもの（ゴール）や学び方について理解する。 ・前期の授業デザイン演習Ⅰに内容を振り返り、自らの授業観について考察、交流する。	（予習）授業デザイン演習Ⅰの学修内容を振り返る。 （復習）これまでの自身の授業観について文章にまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	○国語科の授業づくりについて考える	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校国語科の本質について理解することができる。 ・その中での重要事項について考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	○国語科の授業デザインの実際：授業分析とデザイン	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校国語科の授業VTRを視聴し、よさや課題を考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○算数科の授業づくりについて考える	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校国語科の本質について理解することができる。 ・その中での重要事項について考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	○算数科の授業デザインの実際：授業分析とデザイン	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校算数科の授業VTRを視聴し、よさや課題を考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	○社会科の授業づくりについて考える	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校社会科の本質について理解することができる。 ・その中での重要事項について考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	○社会科の授業デザインの実際：授業分析とデザイン	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校算数科の授業VTRを視聴し、よさや課題を考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	○道徳科の授業づくりについて考える	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校道徳科の本質について理解することができる。 ・その中での重要事項について考察することができる。	（予習）提示資料を読み、本時の内容を理解する。 （復習）本時の学修を振り返り、考察をまとめる。（提出：Google Classroom）	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○道徳科の授業デザインの実際：授業分析とデザイン	1. 講義 2. 演習、協議	・小学校算数科の授業実践について学び、よさや課題を考察することができる。	(予習) 提示資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	○授業デザイン演習：学習課題と導入をデザインする	1. 演習、協議	・自分の選択した教科、単元で学習課題と導入部を中心に授業デザインすることができる。	(予習) 提示資料を読み、本時の内容を理解する。 (復習) 自らの授業デザインを完成させる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
11	○マイクロ・ティーチング①：導入部分としかけ	1. 演習、協議	・自らの作成した授業デザインに沿って、授業の導入部のマイクロ・ティーチングを行うことができる。	(予習) 自らの授業デザインに基づき、教具を作成・準備する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○マイクロ・ティーチング②：導入部分としかけ	1. 演習、協議	・自らの作成した授業デザインに沿って、授業の導入部のマイクロ・ティーチングを行うことができる。	(予習) 自らの授業デザインに基づき、教具を作成・準備する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	○外部講師授業①：優れた授業から学ぶ①	1. 講義 2. 演習、協議	・外部講師の講話を聴き、すぐれた授業実践の要因・背景などについて理解することができる。	(予習) 外部講師の著書(一部)を読み、内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	○外部講師授業②：優れた授業から学ぶ②	1. 講義 2. 演習、協議	・外部講師の講話を聴き、すぐれた授業実践の要因・背景などについて理解することができる。	(予習) 外部講師の著書(一部)を読み、内容を理解する。 (復習) 本時の学修を振り返り、考察をまとめる。(提出：Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	○レポート発表会	1. 発表、協議 2. 講義	・本科目を通して学び考察してきたことから、自らの授業観について互いに発表し合うことができる。	(予習) 発表用スライドを作成する(Power Point)。 (復習) 本時の学修を振り返り、レポートを作成する。(提出：Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力